

4. 持続可能な人づくり事業

(1) ボランティア研修事業

◆2014年日本語ボランティア養成講座

	実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
第1回	9月25日	エンパワメントにつながる支援とは？ ～ジェンダーの視点から考える	三輪敦子(公財 世界人権問題研究センター研究員)	43 (2)
第2回	10月2日	女性ホームレスの視点から日本社会を考える 【公開講座】	いちむらみさこ(ホームレス)	75 (10)
第3回	10月9日	はじめよう日本語ボランティア ふりかえり、活動紹介、協会紹介	山根絵美(協会職員)、 日本語交流活動ボランティア	46 (4)
合計				164(16)

◆多文化子育て支援ボランティア養成講座

日本に暮らす外国人の定住化と国際結婚が増え続ける中、かれらの抱える課題を、同じく子育てをしている日本人に知ってもらい、すべての人が安心して子育てができるためには地域で何ができるかを考えるための講座を行った。講座終了後、各活動の見学を経て、豊中市親子参加型日本語教室「おかまち・おやおでにほんご」、「しょうない・おやこでにほんご」、「多文化保育にこにこ」のボランティアとして活動し始めた。また、他事業の協会ボランティアも参加して研修の場とした。

<時間はいずれも10時～12時>

実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
第1回 5月29日	違う環境で子どもを育てる外国人のお母さん	松原マリナ (NPO 関西ブラジル人コミュニティCBK)	26(1)
第2回 6月5日	お互いのチカラを引きだし合うコミュニケーション ～支援者の役割を考える～	植木美恵子(とよなか国際交流協会 就労相談コーディネーター)	20(2)
第3回 6月13日	とよなか国際交流協会の取り組みと “おやこでにほんご”活動紹介	山根絵美(とよなか国際交流協会職員) おかまち・おやおでにほんごのボランティア	21(3)
合計			67(6)

◆哲学カフェ in とよなか国際交流センター

市民感覚で、提案されたテーマについて参加者みんなで問うたり、意見を出し合うスペースづくりを、フランス発祥の「哲学カフェ」を実践しているカフェ・フィロや大阪大学コミュニケーションデザインセンター教員、大学院生・大学生と共に創出した。隔月で開催する哲学カフェも6年目を迎え、幅広い市民層を迎え入れながら定着してきた。2014年度は、昨年度に引き続き、ミーティングでカフェ・フィロ、協会職員と一緒に話し合いテーマを決定した。また、チラシも進行役本人に作成してもらった。

	実施日	テーマ	進行役	参加者数 (うち外国人)
第1回	5月17日	自分の見た目はだれのもの？	金和永(大阪大学大学院)	27(4)
第2回	7月19日	あなたのふるさとって何？	安谷屋剛夫(大阪大学大学院)	22(4)
第3回	9月13日	私の人生は誰のもの？	秋田光軌(浄土宗應典院)	28(5)
第4回	11月15日	脱毛したい？	川崎唯史(大阪大学大学院)	10(2)
第5回	1月17日	「住む」ってどういうこと？	高原耕平(大阪大学大学院)	13(2)
第6回	3月21日	「近く」でしていることは何ですか？	鈴木徑一郎(大阪大学大学院)	26(2)
合計				126(19)

◆多様な支援をする人のための対話の会

教員や市民団体で活動するスタッフ・ボランティアなど支援者向けの対話の会を、カフェフィロの協力をうけて開催した。対人支援にかかわる悩みや考えを安心して発言できる空間で共有し、解決をはかる場とした。

<進行役は高橋綾さん(カフェフィロ)>

	実施日	参加者数(人)(うち外国人)
第1回	4月19日	6(2)
第2回	5月31日	7(2)
第3回	6月29日	6(2)
第4回	8月10日	8(3)

第5回	9月7日	5(2)
第6回	10月26日	5(2)
第7回	11月30日	4(1)
第8回	1月18日	4(3)
第9回	2月1日	7(3)
第10回	3月1日	4(2)
		56(22)

◆インターン受入れ

大学名	受入れ者氏名	内 容
大阪大学大学院 人間科学研究科	藤澤優	おまつり地球一周クラブの企画・運営、外国語体験活動のコーディネーター等を中心に関わる
甲南女子大学	鎌田莉那	おまつり地球一周クラブの企画・運営、外国語体験活動のコーディネーター等を中心に関わる
甲南女子大学	藤原リサ	おまつり地球一周クラブの企画・運営、外国語体験活動のコーディネーター等を中心に関わる

◆その他学生受け入れ

大阪大学グローバルコラボレーションセンター(GLOCOL)のグローバルコラボレーション科目(グローバル共生社会演習)の一環として、以下2人の学生を受け入れた。

大阪大学外国語学部	三好大	「ミニせんなり」の企画・運営を中心に関わる
大阪大学文学研究科	ジャルパー・ラジャニオン	「世界を食べよう」のサポートを中心に関わる

◆‘UNLEARN’「あたりまえ」に対抗するひとづくりばづくり実践者セミナー

2008年から始められた「学びほぐし」シリーズを、特に3.11以降の自分たちの在り方を考え直すために、2011年に再開し今年度も引き続き実施した。これまで身に付けてきた既存の価値観や概念をいったんほぐして、そこから見えてくる社会や暮らしのあり方について講師と共に考える機会を持った。

第1回 10月18日 14:00~17:00	テーマ	ある小児科医が診た『児童虐待』
	講師	松岡太郎(豊中市保健所長)
	参加者数	52人(うち外国人 11人)

◆市民セミナー

今年度より地域で人権課題に取り組む人を招き、国際のみならず幅広いテーマで学びを深め、多文化共生社会をつくる人づくりを目的とした市民向けセミナーを開催した。日中は仕事等でセンターの行事に参加できない層の参加も多く、利用者の幅が広がった。

実施日	テーマ	講 師	参加者数 (うち外国人)
第1回 5/16 18:30~20:30	「今まで語れなかった家族とハンセン病」	黄光男	38(5)
第2回 7/18 18:30~20:30	「誰もが自分らしく暮らせるユニバーサルデザインとは？」	芳村幸司 (ユニバーサルデザイン推進協会)	37(5)
第3回 9/20 14:00~16:00	「ガザ 繰り返されるジェノサイド」	岡真理 (京都大学大学院教授)	85(12)
第4回 12/5 18:30~20:30	「世界のさまざまな音楽とヒューマンライツ」	松本城州夫&アンサンブルサビーナ (イタリア生活文化交流協会)	91(11)
第5回 1/23 18:30~20:30	「地域に暮らす当事者の思いとその支援」	松岡洋二、足立望、当事者の方2人 (みとい福祉会)	21(4)
合 計			272(37)

◆ボランティア説明会

協会実施事業の紹介およびボランティアになるための方法(養成講座の案内等)について情報提供した。

実施日	内容	参加者数
5月18日(日)10:00~12:00	外国人のおかれている状況および協会事業説明/各事業紹介	50(3)

◆子ども・若者事業ボランティア オリエンテーション

実施日	内容	参加者数
5月25日(日)15:00~16:00	子ども・若者事業に関する事業の詳細説明/ボランティアによる活動紹介	4(1)
6月1日(日)15:00~16:00	子ども・若者事業に関する事業の詳細説明/ボランティアによる活動紹介	3(1)

◆全国ボランティアコーディネーター研究集会(JVCC)2015 大阪

全国各地で取り組まれているボランティア活動の現場で抱える課題を起点に、市民の自発的な参加で組織や施設を活性化し、自由で温もりのある社会を創造する。そんなボランティアコーディネーションをすすめるための「気づき」と「出会い」と「元気回復」の場にしよう関西の多様な分野からの実行委員 55 人が集まり、6 か月間にわたる企画を練り、「福祉・災害・医療・企業・人材育成・若者・多文化等々」の講師や事例発表者の報告を通して、全国の方々との実践交流と情報交換を行いました。

この研究集会の分科会(B-1:支援「する側」「される側」を超えるコーディネーション～生きづらさに寄り添い「居場所」と「役割」を創りだすカギ～)を 400 人を超えるボランティアと共に活動する協会職員として担当し、企画・運営・進行・まとめを担うことで、貴重な実践と素晴らしい人たちと出会い繋がることができました。

≪JVCC 実行委員会・分科会打合せの日程≫

実施日	実行委員会の内容	場所	参加
7月21日	オリエンテーション・第3回実行委員会(全体企画)	龍谷大学梅田キャンパス	2
8月10日	第4回実行委員会(全体企画・分科会内容検討)	CANVAS 谷町(大阪ボラ協)	1
9月23日	第5回実行委員会(全体企画・分科会企画)	CANVAS 谷町(大阪ボラ協)	1
11月15日	第7回実行委員会(全体企画・分科会企画)	龍谷大学梅田キャンパス	1
12月14日	第8回実行委員会(発送作業・会場下見・企画会)	ドーンセンター	1
2015年1月10日	第9回実行委員会(全体企画と運営・役割分担)	龍谷大学梅田キャンパス	1
2月7日	第10回実行委員会(最終打ち合わせと確認)	龍谷大学梅田キャンパス	1
2月28日	会場準備・オープニング全体会・分科会A(夜:交流会)	ドーンセンター	2
3月1日	分科会B・クロージング・会場片づけ	ドーンセンター	2

【分科会担当者の打合せ参加】・2014年10月6日、2015年1月6日、1月20日、2月23日

5. 子ども国際事業

(1)おまつり地球一周クラブ

地域に暮らす外国人を中心に日本人も含め、ともに国際理解講座や遊びを通じて国際感覚を持った子どもたちを育成し、豊かな地域社会を構築することを目的として実施した。インターンシップの大学生やボランティアが外国人講師と共に企画段階から準備を進めた。また、外国人講師の力を発揮する機会にもなった。2014年度は地域とのつながりを一つのテーマに、地域で活動する“昆虫博士”や、協会ともつながりのある福祉作業施設との連携で夏休み特別企画を実施したり、「おしらせ」表紙を担当する大阪府立池田高校美術部の生徒によるアートワークショップを開催したりするなど、地域に暮らすさまざまな人に関わってもらえたため、国や地域を限定することなく多様なテーマを提供することができた。

	実施日	テーマ	参加者数(人)		
				子ども	外国人
第1回	5月25日	コリアタウンに行こう!	13	6	7
第2回	6月22日	ようこそ!ブラジル	19	10	9
第3回	7月6日	ナマステ!インド	24	12	6
第4回	7月26日	出張おまつり地球一周クラブ@豊中市民活動協働サロン(インド!インド?インド!!)	15	3	4
第5回	8月7日	昆虫の世界をのぞいてみよう	17	8	3
第6回	8月19日	アロマキャンドルを作ってみよう	38	25	1
第7回	9月27日	エクアドルを知ろう!	22	6	5
第8回	10月19日	Jambo! Kenya!! (大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラムとのコラボ)	28	7	2
第9回	10月25日	おまつり地球一周クラブ in 庄内(おでかけ国流)	30	10	5
第10回	12月29日	フィリピンのクリスマス	10	6	5
第11回	1月20日	イスラームを学ぼう	9	2	1
第12回	2月24日	アートを楽しまう(大阪府立池田高校美術部とのコラボ)	7	3	0
総合計			232	98	48

(2)チャオチャオハンデル講座

ハンデル学習を通して一番近い国の文化を体験・学習するプログラムは「うきうきハンデル」として地域に住む子どもたちに長年親しまれてきた。この数年は韓国出身の講師やボランティアの都合が合わず開催していなかったが、2013年度からおまつり地球一周クラブの中で、「チャオチャオ(好き好き)ハンデル」としてリニューアル開催している。今年度は6月～2月の毎月第4土曜に実施し、計9回開催した。〈指導者:シムスヨン、キルドンソク〉

	実施日	テーマ	参加者数(人)		
			子ども	外国人	
第1回	6月28日	自己紹介、韓国の紹介、名札づくり、民族衣装を着てみよう	22	10	8
第2回	7月26日	お面の紹介、タル(面)をつくらう、歌	20	9	5
第3回	8月2日	タル(面)をつくらう、ユンリ、歌	16	5	3
第4回	8月23日	料理を作ろう①ビビンバ	22	9	9
第5回	9月27日	歌って遊ぼう、楽器体験	13	7	5
第6回	10月25日	南北코리아絵画展作品づくり、	15	5	3
第7回	11月8日	韓国の遊び、ユンリ大会(国際交流と人権を考えよう Part II の中で)	16	9	7
第8回	2015年1月24日	料理を作ろう②トック、	28	14	6
第9回	2月21日	記念カードづくり、折り紙、ユンリ	16	9	1
総合計			168	77	47

(3)韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

韓国・朝鮮につながりのある子どもたちが、毎月第3土曜日に集まり、民族講師(ソンセンニム)から、民族の文化や遊びを学び通して、自尊感情を培うとともに、友だち(チング)とのつながりを深める場を設けた。市内小中学校の先生方が主体の「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」実行委員会が中心となり、「つどい」の運営を進めている。〈民族講師(ソンセンニム):金生遵、柳敬修、姜正美〉

	日程	内 容	参加者数(うち外国人)	先生(うち外国人 ※ソンセンニム含む)
—	4月19日	実行委員ミーティング	—	9(4)
第1回	5月17日	開講式・イルム(名前)の練習・自己紹介	6(6)	12(5)
第2回	6月28日	数字・ウリマル(韓国朝鮮語)・ウリマルで計算しよう	8(8)	15(7)
第3回	9月20日	チュソク(秋夕・おぼん)について・ルーツについて	9(9)	19(8)
第4回	10月18日	タルチュム(仮面劇)を知ろう・タル(仮面)づくり	10(10)	10(3)
第5回	11月15日	タルチュムリ練習・発表	9(9)	12(3)
第6回	12月20日	ソルラル(お正月)について	11(11)	13(3)
第7回	1月17日	料理をつくらう(ポッキづくり)	8(8)	13(4)
第8回	2月21日	1年をふりかえって(文集づくり)	7(7)	8(1)
第9回	3月21日	修了式	15(15)	17(4)
合 計			83(83)	128(42)
総合計			211(125)	

◆ハギハッキョ(夏期学校)

			子ども	先生(うちソンセンニム)
7月28・29日	小学生のハギハッキョ	豊中市立南桜塚小学校	23	64(4)
8月7日・8月8日	ハギハッキョ・キャンプ	豊中市青少年自然の家わっぱる	8	18(4)
総合計			31	82(8)

Ⅱ. 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業

1. おとなサポート事業

(1) 相談サービス

生活相談・外国人女性専用電話相談		相談件数計(臨時通訳・行政書士相談含): 948 件
毎週金曜日	11:00~16:00	
相談員		吉嶋かおり(臨床心理士)
就労相談コーディネーター		岩田ユミ(~4月)/植木美恵子(5月~)
多言語スタッフ	中国語	賈晨
	韓国・朝鮮語	朴貞淑
	フィリピン語・英語	平松マリア
	タイ語	ラビーパン・カンブンスュー(~7月)/シリジャン・ウィリヤーボン(8月~9月)/ラッタナセリーウォン・センティアン(10月~)
	ポルトガル語	中原田ブルーナ
	スペイン語	滝本クラウディア
	インドネシア語	カスイ・プリスカ・サフィトリ
	ベトナム語(10月~)	グエン・ティ・ジェム・ニュン
行政書士相談(随時実施)		協力:行政書士入管手続研究会 件数:8件
臨時通訳		件数:20件

◆相談件数

2014年度の相談件数は920件(行政書士相談、臨時通訳を含むと948件)、前年度が479件だったため、前年度比92%増、約2倍の相談件数であった。増加の背景として、ベトナム語対応の導入(ベトナム国籍者71件)、同一事業所に勤務する複数従業員の労働問題及びそこから波及する生活や手続き上の相談の集中、DV被害者の自立等支援が挙げられる。

相談者の居住地は、例年通り豊中市が最も多く、40.7%だった。センター事業の「利用者」からの相談は、例年通り豊中市民が約70%を占めた。大阪府下全域では77.42%、他に、近畿の他府県だけでなく、電話で全国から寄せられている。

国籍は例年通りフィリピンが最も多く47.0%。フィリピン語での相談が大阪ではほとんどないため、当方に集中していることに加え、長年実施してきたことで、口コミで知られるようになってきていることが伺える。次いで年度途中から導入したベトナム7.7%、さらに、中国、韓国がそれぞれ約5%となっている。国籍は30カ国に及んだ。日本と外国の二重国籍者が18件(未成年)、日本国籍だがルーツが日本以外の方は28件(日本国籍のうちの36.8%)だった。日本国籍で使用言語が日本語以外の相談は23件、外国籍だが日本語で相談を行ったのは312件で、そのうち相談対応言語以外の言語を公用語(母語)とするものは10件、5カ国語だった。日本語で対応した相談は、日本語での会話が可能で、プライバシーを守りたいために、あえて日本人スタッフへの対応を求めたものと、関係機関との連携によるものが多かった。

在留資格は定住者27.5%、配偶者23.7%、永住者が9.0%だった。2014年度は、少ないながらも「研修/技能実習」の在留資格で滞在する人からの相談があり(12件)、技能実習制度の問題が寄せられた。

職業では介護職が21.8%、パート・アルバイトが15.0%、無職が13.7%だった。無職は生活保護受給者が多く、就労者はほぼ非正規労働者である。

<相談内容と件数>(1件の相談で複数の相談テーマがあるため、相談件数より母数は大きい)

大項目	件数	割合(%)	昨年度件数(増%)	小項目 <カッコ内は全件に占める割合(%)>
夫婦関係	185	16.0	143(129)	DV(5.0)、離婚(5.6)、親権・養育費(2.6)、不和・不満(2.0)、国際結婚(0.4)、その他(0.3)
手続き	145	12.6	69(210)	在留資格など(7.9)、家族呼び寄せ(1.1)、養子(0.1)、その他(3.5)
生活	328	28.4	146(224)	日常生活(5.5)、行政手続き(9.0)、住居(3.3)、日本語学習(4.7)、金銭問題(2.9)、交通事故(0.2)、その他(2.8)

保健	54	4.7	32 (168)	メンタルヘルス(0.3)、医療(3.2)、母子保健(0.8)、その他(0.3)
人間関係	43	3.7	20 (215)	家庭(1.0)、友人(1.6)、地域(0.7)、職場(0.0)、その他(0.4)
労働	261	22.6	111 (215)	求職(10.0)、就労定着上の問題(2.1)、失業・退職(1.0)、労災(1.6)、給料未払(4.8)、その他(2.9)
子ども	100	8.6	65 (153)	子育て(2.0)、学校(4.4)、保育所・幼稚園(1.1)、その他(1.1)
その他	39	3.4	21 (185)	人権侵害(0.6)、その他(2.8)

◆機関連携

他機関からの問い合わせ、他機関で受けた相談者への支援依頼など、他機関との連携による相談は140件(15.2%)だった。機関連携で多いのは、DV被害者への対応、経済的困窮者(生活保護受給者含む)の家庭や生活上等の問題、就労支援、労働問題、子どもの学校生活における問題、法的対応にかかる弁護士との連携等であった。

豊中市	人権政策室、保健センター、子ども家庭相談室、幼稚園、小・中学校、福祉事務所、雇用労働課、市民相談課
豊中市以外の自治体・学校	他市DV担当、府・他市教育委員会、他市子ども家庭相談室、他市福祉事務所、公立高校、
公的支援機関	労働局、子ども家庭センター、年金事務所、府・市社会福祉協議会、母子福祉支援施設
その他支援機関	AMDA、チャーム他支援団体、人権擁護団体
その他	弁護士、病院、協会事業ボランティア、メディア

◆スタッフ研修(内部・外部)

相談事業スタッフの研修を行い、相談員としての基本的な知識・スキルを学び資質向上をはかった。

実施日	テーマ 講師	参加者数(人)
6月21日、28日 7月6日	【外部研修】「通訳者・相談員スキルアップ研修」 すべての外国人とその家族の人権を守る関西ネットワーク:RINK 主催	5(4)
6月2日・3日	【外部研修】通訳者/相談員研修会 OFIX 主催	5(4)
5月30日	ケース勉強会 講師:ファシリテーター:吉嶋かおり(協会相談員)	11(8)
6月27日	豊中市社会福祉協議会の事業について 講師:勝部麗子(豊中市社会福祉協議会)	7(6)
10月9日	【外部研修】RINK 総会(DV被害者への支援について) 講師:RINK、雪田樹理弁護士	1(0)
2015年 1月16日	性暴力について 講師:田口奈緒(医師/性暴力被害者支援センターひょうご)	12(8)
1月22日	【外部研修】DV被害者の地域支援者養成講座 大阪府主催	2(1)
1月29日	【外部研修】相談員・通訳者スキルアップ研修 OFIX 主催(講師:いのちの電話職員他)	3(3)
	合計	46(34)

◆外国人のための多言語セミナー

相談事業によせられる相談から課題を抽出してセミナー化し、広く情報提供をはかった。すべての講座に通訳と保育をつけて、外国人女性が参加しやすい環境を整えた。

実施日	テーマ 講師	参加者数 (人)
6月20日	韓国人コミュニティ交流会 ファシリテーター: 朴貞淑(協会韓国語多言語スタッフ)	13(13)
9月19日	幼稚園ってどんなところ? 講師: 豊中市立しんでん幼稚園園長 寺本幸子	25(15)
9月26日	ブラジル人交流会 ファシリテーター: 中原田ブルーナ(協会ポルトガル語多言語スタッフ)	26(23)
10月25日	外国人のための一日情報&相談サービス in 庄内 相談員: 越尾邦宏(弁護士)、橋本義範(おおさか子ども多文化センター)、湯川理巳(小児科医)、行政書士入管手続き研究会より行政書士5人、協会相談員2人、OFIX相談員1人	50(40)
12月12日	ストレスのセルフマネジメント～Emotion Freedom Technique(EFT)を体験しよう!～ 講師: 中萩エルザ(ブラジル人医師)	41(30)
2015年 2月6日・20日	外国人のための確定申告相談会 協力: 和田会計事務所	19(10)
2月14日	中国春節交流会 ファシリテーター: 賈晨(協会中国語多言語スタッフ)	52(48)
2月27日	外国人のための健康セミナー「発達障害って何?」&無料健康相談会 講師: 松岡太郎(豊中市保健所所長) 共催: NPO 法人チャーム、協力: 豊中市保健センター	27(22)
合計		253(201)

◆地域連携

実施日	内容
5月29日	豊中市 保健師会への参加・情報提供(中部保健センター)
6月13日	ケースカンファレンス(地域就労支援センター)
6月23日・9月26日・ 10月10日	DV防止ネットワーク会議 ケース検討会議
6月25日	虐待防止ネットワーク会議
8月8日	人権相談機関ネットワーク会議
11月27日	大阪府外国人向け行政情報提供窓口相談員ネットワーク会議 (「研修生・技能実習生のことを知ろう」)
11月28日完成	社会福祉協議会の多言語パンフレットの翻訳作業と取材協力
12月5日・12月9日・ 12月11日 2015年2月10日	民生委員・児童委員協議会の役員会での情報提供(第1民児協～ 第4民児協)
2015年2月19日	OFIXでの1日相談会実施団体によるふりかえり会議
2015年3月2日	人権相談機関ネットワーク会議

◆シンポジウム「勝手に離婚されるだけじゃない! 無法地帯の協議離婚を考える」の開催

協議離婚制度の簡便さから、日本人配偶者である夫から、勝手に離婚届を出されるという相談ケースをふまえ、国際結婚の事例をもとに、協議離婚制度の問題について提起し、議論を深めた。

準備会合 第1回	6月17日	テーマ	外国人支援機関におけるケースの共有と検討会議
		内容	各団体の「勝手に離婚された」ケースの発表
準備会合 第2回	8月26日	参加者数	9人 (いくの学園、チャーム、RINK、京都YWCA/APT、神戸外国人救援ネット、当協会)
		テーマ	外国人支援機関における当該ケースの共有と検討会議
本番	2015年 2月22日	内容	問題点の整理、シンポジウムの内容に関する打合せ
		参加者数	7人(いくの学園、RINK、京都YWCA・APT、神戸外国人救援ネット、当協会)
		テーマ	シンポジウム「勝手に離婚されるだけじゃない! 無法地帯の協議離婚を考える」 事例発表(とよなか国際交流協会とRINK)、講義(大阪市立大学教授 森山浩江/同志社大学教授 二宮周平) および終了後に交流会。後援に大阪弁護士会、日本家族<社会と法>学会
合計		参加者数	82人(12人)
合計		合計	98人(うち外国人12人)

◆「日本語支援グループ・むすびめ」との協働事業

2009年度～2010年度文化庁委嘱事業「多文化共生社会の基盤をつくるための“むすびめ”を生み出す日本語コーディネーター研修(むすびめ事業)」で研修を受けたボランティアが中心となり、2011年度に「日本語支援グループ・むすびめ」が結成され、月曜日のにほんご活動事業「もっとももっとかえるにほんご」の運営および、外国人への具体的な仕事や資格につながる支援事業(主に日本語を切り口とした)を協会と共催した。

<日本語能力検定試験パーソナルサポート>

参加者数	199人(うち外国人122人)	
サポートのべ回数	86回	
サポートのべ時間数	226時間	
内容	日本語検定試験のためのボランティアによる個別指導	
実施日 (同日に複数回実施もあり)	4月	8,15,22,29
	5月	6,13,20,27
	6月	3,10,17,24
	7月	1
	9月	2,9,16,30
	10月	3,7,14,21,28
	11月	4,11,18,21,25
	12月	2,5

就労のための資格取得サポートの一環として、日本語能力検定試験にむけた個別サポートを実施した。今年度は基本的に毎週火曜日の開催とし、試験日の3ヶ月前からの実施をおこなった。

<その他(就労定着支援日本語サポート)>

参加者数	24人(うち外国人12人)	
サポートのべ回数	12回	
サポートのべ時間数	24時間	
内容	就労定着のための日本語個別指導	
実施日	6月	13,20,24,30
	7月	7,11,14,18,25
	8月	1,4,8

<協会/むすびめ連絡会>

「日本語支援グループ・むすびめ」と協会が実施する共催事業や資格・就労のための日本語学習の打ち合わせなど、情報共有を定期的実施した。

参加者数	のべ45人(うち外国人6人)
実施日	5月26日、9月22日、10月27日、12月22日、2月16日、3月23日

◆DV啓発コーナーの設置

センター内にDV相談を周知するために情報コーナーを設置し、多言語(9言語)のポスターを配置した。

◆中間的就労、社会参加の機会提供としての料理教室の試行

外国人相談者の中間的就労と社会参加の機会提供の一環として、料理教室を「世界を食べよう！」と題して開催した。料理を担当する外国人当事者は、レシピの作成や予算内での材料の準備、また、参加者に日本語で料理や自国文化を説明しながら交流することで、自信を得ることができた。参加者の中には外国人もおり、日本人だけでなく、外国人同士の出会い・交流の場にもなった。

	日程	内 容	参加者数 (うち外国人)
第1回	11月27日	ペルー編①(ロモ・サルタード:牛肉と野菜の炒めもの)	12(2)
第2回	12月18日	ペルー編②(ポヨ・アル・オルノ:ペルー風ローストチキン)	21(2)
第3回	1月22日	ペルー編③(パパ・レジェナ:ペルー風コロッケ)	18(1)
第4回	2月19日	タイ編①(ヤムウンセン:タイ風春雨サラダ、 ガパオライス:ひき肉のバジル炒めの乗っけごはん)	21(4)
第5回	3月19日	タイ編②(ゲーンキョウワン:グリーンカレー、 カイチョウムーサップ:タイ風オムレツ)	18(5)
		合計	90(14)

2. 子どもサポート事業

(1)多文化子ども保育 “にこにこ”

地域に暮らす就学前の外国人の子どもたちが、読み聞かせや自由遊びなどの保育を通して、多様な子どもや大人と接し、コミュニケーションを取ることで社会生活に慣れるための場づくり。保護者にとっては子どもと離れて日本語活動活動へ参加したり、自分の時間を持てる場になっている。外国人保護者にとっては、保育の専門知識を持つボランティアへ子育て相談をしたり、幼稚園・保育所のことなど地域の情報を得ることができる場になっている。

実施曜日	時間	回数	ボランティア登録者数	参加者数(のべ人数):うち外国人 ボランティア登録者数(のべ人数)
木曜日	13:30~15:30	45回	3人	子ども(59):うち外国人(59) ボランティア登録者数(121)
金曜日	10:30~12:00	45回	4人	子ども(228):うち外国人(226) ボランティア登録者数(125)
			合計	子ども(287):うち外国人(285) ボランティア登録者数(246)

◆豊中子ども読書推進連絡協議会

豊中市が2005年3月「豊中市子ども読書活動推進計画」(「推進計画」)を、また具体的に推進するために、2006年8月に「子ども読書活動推進計画 実施計画」(「実施計画」)を策定した。11月に豊中市子ども読書活動推進連絡協議会が設置され、すべての子どもの読書環境を整備していくこととなった。国際交流協会もその一端を担い、特に「障害のある子どもや外国人の子ども」の読書環境を整備するワーキンググループに参加し、具体的な事業実施に協力した。「2007年度事業実施報告書」には、協会における子ども読書活動の取り組みが取り上げられ、読書活動において「外国人の視点」が、地域課題の一つとして認識されてきた。しかし、2014年度に第2期実施計画の最終年を迎え、この計画については第2期実施計画終了後「豊中市子育て・子育て支援行動計画」に、その理念が集約されることになった。一方で、子どもと本をつなぐ担い手である関係部局・団体との交流や情報交換、現状確認の場を今後も維持することために、2015年度には「子ども読書活動連絡会議」(仮称)として引き継ぐこととなる。

協会としては、今年度も言語的マイノリティに置かれる外国につながる子どもたちが、乳幼児期から母語や本(絵本)と出会うために、多文化子ども保育にこにこ、おやこでにほんご(岡町・庄内・千里)、子ども母語などの事業で、プログラムに絵本の読み聞かせなどを取り入れたり、センターに外国語絵本コーナーを設けるなど、事業横断的に外国人親子の読書活動推進を行っている。また、11月開催の多文化フェスティバルにおいて、昨年に引き続き多言語絵本(日本語を含め6言語)の読み聞かせをそれぞれの母語で行った。

<ハード面での環境整備>

- ① 外国語絵本コーナーの整理、周知
- ② 市立図書館の外国語図書を配架(半年毎に入れ替え)

<ソフト面での環境整備>

- ① 外国人親子の居場所づくり(おやこでにほんご)での読み聞かせ(母語・日本語)を行った。
- ② 多文化フェスティバルで多言語(日本語を含む6言語)絵本の読み聞かせを行った。

実施日(内容)	場 所
5月29日 第1回推進連絡協議会	いずれも 岡町図書館
6月24日 第1回ワーキンググループ会議	
10月28日 第2回推進連絡協議会の事前調整	
10月30日 第2回ワーキンググループ会議	
11月13日 第2回推進連絡協議会	
12月20日 「子どもを本をつなぐ地域交流会」	
1月22日 第3回ワーキンググループ会議	
2月12日 第3回推進連絡協議会	

◆公民協働子育て支援イベント ～ みんな集まれわくわくランドへの出展協力

市が年に一度開催する子育てイベント。実行委員会に参加し、当日の出し物として今年は「おかまち・おやこでにほんご」ボランティアが世界の楽器・絵本の展示・体験コーナーを運営した。そして事業(おやこでにほんご、日本語交流活動、相談など)の広報をした。

(2)子ども母語教室

外国にルーツを持つ子どもが母語や文化を学ぶことを通じて仲間と出会う場づくりを目的に、中国語、スペイン語、ポルトガル語、インドネシア語の4言語の母語教室を月に2回開催した。母語のスタッフはルーツを持つ大学生で、子どもにとってピア(同じ経験をした仲間)サポーターであると同時に、ロールモデルとしての役割を果たした。

<定例>

実施曜日	時期	時間	回数	参加者数(人)
第2日曜 第4日曜	2014年4月13日 ～2015年3月22日	10:00～12:00	81回	子ども(219)、親(11)、ボランティア(133) 総合計 363人(うち外国人 312人)

<クラス別>

クラス	年間活動回数	参加者数 (人)		合計
中国語	19	子ども 19	ボランティア 33	52
ポルトガル語	21	子ども 113	ボランティア 39	152
スペイン語	21	子ども 75	ボランティア 30	105
インドネシア語	20	子ども 12	ボランティア 31	43
総合計				352

<その他>

実施日	内容	参加者数 (人)		合計
5月11日	【合同イベント】母の日 メッセージカード作り	子ども 18	ボランティア 4	22
7月13日	【合同イベント】ポルトガルのおまつり(フェスタ・ジュニーナ)	子ども 13	ボランティア 6	19
10月26日	【合同イベント】インドネシアの料理(マルタバ・テラン・プラン)作り	子ども 2	ボランティア 10	12
1月25日	【合同イベント】中国の旧正月(装飾物作り)	子ども 13	ボランティア 7	20
3月8日	【合同イベント】スペインの軽食(パピ・ア・ラ・ワンカイナ)作り	子ども 15	ボランティア 8	23
総合計				96

(3)学習支援・サンブレイス

外国にルーツを持つ子どもを対象に、大学生・大学院生ボランティアによる日本語・学習支援を通じた居場所づくりを行った。外国にルーツをもつ学生もボランティアとしてかかわっており、そのことで子どもの悩みやニーズへ柔軟な対応を可能とした。今年度は若者支援に通う「多文化ダンス教室」の子どもたちが教室が終わってから来たため、参加人数が昨年度よりも大幅に増加した。

<定例>

実施日	時期	時間帯	回数	参加者数(人)	
毎週日曜	4月13日～3月30日	13:00～15:00	38	子ども (うち外国人)	389(371)
				ボランティア(うち外国人)	255(138)
				合計 (うち外国人)	644(509)

<その他>

実施日	内容	参加者数(人)	合計
6月29日	サンブレ遠足 (於:伊丹スカイパーク)	子ども(14)、ボランティア(15)	29
8月8・9日	全国外国人生徒交流会 (於:広島市青少年野外活動センター)	子ども(1)、ボランティア(5)	6
8月24日	宿題をやっつけよう!夏休みインテンシブ①	子ども(7)、ボランティア(6)	13
8月26日	宿題をやっつけよう!夏休みインテンシブ②	子ども(5)、ボランティア(2)	7
8月28日	宿題をやっつけよう!夏休みインテンシブ③	子ども(5)、ボランティア(2)	7
8月31日	宿題をやっつけよう!夏休みインテンシブ④	子ども(15)、ボランティア(10)	25
12月21日	クリスマス会	子ども(6)、ボランティア(10)	16
12月27日	もちつき大会 (於:二の切温水プール)	子ども(11)、ボランティア(6)	17
総合計			120

・千成小学校より協力依頼があり、「ミニせんなり」のアドバイザーとして参加した。

	実施日	時間	内容	参加者数(うちボランティア)
1	11月14日	10:45~12:20	第1回 子ども会議	6(5)
2	11月21日	10:45~12:20	第2回 子ども会議	5(4)
3	11月28日	10:45~12:20	第3回 子ども会議	4(3)
4	12月5日	10:45~12:20	第1回 合同会議	5(4)
5	12月12日	10:45~12:20	第2回 合同会議	5(5)
6	1月16日	10:45~12:20	第3回 合同会議	4(3)
7	2月18日	8:45~10:20	第4回 合同会議	1(1)
8	2月25日	8:45~16:00	ミニせんなり本番	2(2)
総数				32(27)

◆子ども事業スタッフ・ボランティア研修

実施日	内容(講師)	参加者数(人)
4月27日	第11回ブラジル移民祭2014 (NPO 法人関西ブラジル人コミュニティCBK)	3
6月29日	ボランティア交流会	16
7月4日	P4C(子どもの哲学)を活用した「こどもの居場所」づくりプロジェクト第3回	1
7月6日	通訳者・相談員スキルアップ講座 第3回	2
10月22日	第3回ブラジル日本教育フォーラム	1
12月8日	子ども事業 ボランティアミーティング①	8
12月20日	子ども事業 ボランティアミーティング②	10
1月18日	子ども・若者事業ボランティア研修①「在留資格って何だろう？」 講師:木村雄二さん(RINK すべての外国人労働者と家族の人権を守る 関西ネットワーク職員)	7
2月15日	子ども・若者事業ボランティア研修②「『居場所づくり』って何だろう？」 講師:阿部寛さん(地域人権学習会「ぼちぼち」) 明石紀久夫さん(特定非営利活動法人「遊悠楽舎」)	6
合計		54

◆関係機関等との連携

実施日	内容	場所	参加者数
4月14日	京都女子大 授業見学およびボランティア募集呼びかけ	京都女子大	5
5月1日	川西市ケースカンファレンス	川西市青少年センター	1
5月22日	池田市立呉服小学校 国際学習全校集会・母国語教室開講式	池田市立呉服小学校	5
6月28日	らいとぴあ21 社会課題セミナー「こども・若者のイマドキの自立を考える連続講座」	箕面市立萱野中央人権文化センター	2
7月5日	「来て見て知って朝鮮学校」生野フィールドワーク	東大阪朝鮮第四初級学校	3
7月24日	豊中市人権教育夏季研究会	ローズ文化ホール	3
7月28日	韓国朝鮮の遊びと文化のつどい「ハギハッキョ」	豊中市立南桜塚小学校	3
8月8日・9日	全国外国人教育推進協議会 生徒交流会	広島市青少年野外活動センター	6
8月21日	大阪府人権教育夏季研究集会	アウィーナ大阪	2
10月26日	「ちびっこうべ」見学	デザインクリエイティブセンター神戸	5
11月15日	「外国人と人権」シンポジウム	オーバルホール	2
2月2日	第20回 兵庫県外国人教育研究集会	宝塚市立良元小学校	1
2月26日	池田市立呉服小学校 国際理解学習全校集会・母国語教室修了式	池田市立呉服小学校	2

子ども相談 合計 119 件

内 容	件数
学習支援	7
母語・母文化学習	0
日本語支援	8
進学／進路	27
就労	3
金銭問題	0
学校でのトラブル	1
家庭内のトラブル	47
保健	19
その他	7
合計	119

◆ 関西子どもの権利条約フォーラム 2014

「子どもの権利条約」が国連で採択されて 25 年、日本が批准して 20 年という節目の年として、公益社団法人子ども情報研究センターを呼びかけ人として、関西子どもの権利条約フォーラム 2014 実行委員会を立ち上げ、フォーラムを開催した。協会は実行委員会のメンバーとしてフォーラムの分科会を担当し、また、“子どもの権利が保障されている関西”の実現に向けた提言書と提言集を発表した。

実施日	内 容	場 所
7 月 22 日	実行委員会顔合わせ、子どもの権利条約について	子ども情報研究センター
8 月 19 日	第 1 回学習会	子ども情報研究センター
9 月 6 日	第 2 回学習会、協会事業についての発表	子ども情報研究センター
10 月 7 日	フォーラム開催に向けたミーティング	子ども情報研究センター
11 月 9 日	関西子どもの権利条約フォーラム(当日)	子ども情報研究センター
12 月 16 日	振り返りミーティング	子ども情報研究センター